

令和7年度 福井県産休・育休等代替職員募集のお知らせ

受付期間 令和7年11月13日（木）から令和7年11月20日（木）まで＜必着＞
選考日 令和7年11月25日（火）

令和7年11月13日

福井県農林水産部農村振興課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

電話 0776-20-0450

令和7年12月以降、福井県中山間農業・畜産課に勤務する福井県産休・育休等代替職員を募集します。

（主な職務内容）

- ・中山間地域等直接支払交付金事業に関すること
- ・棚田地域振興法等に関する県計画の改正に関すること

今回募集する産休・育休代替職員は、期限付きで採用するものです。勤務期間は概ね6か月は「臨時任用職員」、その後本務者の育児休業期間中は「任期付職員」として任期することとなります。

任期は最長で1年程度を予定していますが、職員の休業期間の短縮や、欠員の解消等により退職いただく場合があるほか、勤務実績等により任期付職員として任用できない場合があります。

1 採用職種および勤務場所等

職種	勤務場所	勤務期間	募集人数
土木（総合）	福井県農林水産部中山間農業・畜産課 （福井市大手3丁目17-1）	令和7年12月から 令和8年12月まで	1名

2 応募資格

次の（1）から（2）のいずれにも該当する者

- （1）学校教育法に基づく高等学校以上において、農業土木・土木または農林学の課程を修めて卒業した者
- （2）日本の国籍を有し、かつ地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者

3 選考考査

試験内容 適性検査、口述試験

試験日程 令和7年11月25日（火）10時から

（15分前までに集合してください。応募者多数の場合には、試験日程を変更する場合があります。試験日程を変更した場合には、事前に連絡します。）

なお、口述試験については、別途応募者にご連絡します。

試験会場 福井県庁8階 農村振興課会議室（福井市大手3丁目17-1）

- ・受験票は発行しません。
- ・試験当日は、指定の時刻までに試験会場へお越しください。
- ・鉛筆（HB 2本）、消しゴム等の筆記用具を持参してください。
- ・自家用車での来庁はご遠慮ください。

4 合否通知

試験終了後速やかに合否を通知するとともに、合格者に対しては、その後の手続き等についてご案内します。なお、採用後に、採用理由が消滅した場合（産休・育休等代替職員が必要とされなくなった場合）には退職していただくことになります。

5 勤務条件

勤務日 月曜日から金曜日まで
勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで
給料 大学（修学年数4年）卒の場合 213,600円（月額）
短大（修学年数2年）卒の場合 201,000円（月額）
高校卒の場合 188,000円（月額）
※令和7年4月1日現在
※なお、職歴等のある方については、一定の基準で算出された額が加算される場合があります。
諸手当 地域手当、通勤手当、期末・勤勉手当等を任用期間に応じて支給します。

6 申込手続

別紙の「福井県産休・育休等代替職員申込書」に必要事項を記入の上、「2 応募資格」の（1）の任用資格を有することを証するもの（最終学歴の学校の卒業（修了）証明書および最終学歴の学校の学業成績証明書）を添付し、福井県農林水産部農村振興課まで持参または郵送（書留）してください。

申込書等を郵送する場合は、封筒の表に「福井県産休・育休等代替職員申込み」と朱書きしてください。

（郵送先）〒910-8580 福井市大手3丁目17-1 福井県農林水産部農村振興課 TEL 0776-20-0450
--

7 申込受付期間

令和7年11月20日（木）まで＜必着＞
午前8時30分から午後5時15分まで（土、日、祝日は除く。）
（郵送の場合は、必ず書留郵便とし、令和7年11月20日（木）午後5時15分までに到着したものに限り受け付けます。）

8 試験結果の開示について

この採用試験の結果については、口頭で開示を求めることができます。

（1）開示の内容等

口頭で開示を求めることができる者	開示内容	開示期間	開示場所
当該採用試験に合格しなかった者本人	総合得点および総合順位	合否通知の到達日から1か月	福井市大手3丁目17-1 福井県農林水産部 農村振興課

（2）開示の手続き

開示を求める場合は、以下のいずれかの書類を持参の上、午前8時30分から午後5時15分までの間に、開示を求める本人（代理人は認めません）が直接、福井県農林水産部農村振興課へお越しください。（ただし、土曜日、日曜日および祝日は受け付けておりません。）

① 運転免許証	④ 日本国旅券（パスポート）
② 各種健康保険の被保険者証	⑤ 各種年金手帳等
③ 個人番号カード	

※環境への配慮から来所に際しては、できる限り公共交通機関のご利用をお願いします。
また、車を利用するに当たってはアイドリングストップなどエコ運転にご協力ください。